

人体形態学

Human Morphology

単位数：2単位

○藤谷 昌司 教授：神経科学
藤田 幸 教授：発生生物学

1. 科目の教育方針

人体の構造を分子、細胞、組織、器官、個体の各レベルで階層的に学ぶとともに、その放射線解剖学や発生学、ならびに神経解剖学について理解を深める。

2. 教育目標

一般目標 general instructional objectives

- 1) 人体の形成過程を分子から個体に至る各レベルにおいて理解する。
- 2) 人体各部の構造を肉眼解剖学および顕微解剖学的に理解する。
- 3) 人体各部の構造と機能との関連を神経解剖学的に理解する。
- 4) 人体各部の構造を画像形態学的に理解する。

行動目標 specific behavioral objectives

- 1) 人体形成における正常と異常を各レベルで説明できる。
- 2) 人体各部の基本的構造を機能と関連づけて説明できる。
- 3) 人体の構造の病的異常を画像形態学的に説明できる。
- 4) 基礎的および臨床的な課題を通じて、自ら問題を解決する能力を養う。

3. 教育の方法、進め方

オムニバス形式を基本とする講義と演習により行う。

講義は主として面接授業で行うが、新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑みて、オンライン授業に変更する場合もある。オンライン授業の場合は、Teams等によるライブ配信を中心にオンデマンドを併用する。講義方法に変更がある場合には都度、連絡を行う。

4. 成績評価の方法

すべての講義と演習が終わった後、規定の出席率（2/3以上）を満たした学生に対し、課題を呈示し、レポートの提出等を指示する。そのレポート等を行動目標の達成度を主眼に評価する。

5. 使用テキスト・参考文献

Larsen's Human Embryology (5th edition), Gary Schoenwolf et al., Elsevier, 2014
Neuroanatomy Text and Atlas (4th edition), John H. Martin, McGraw-Hill Education,

2012

6. 教育内容

回	授業内容	担当
1	人体発生学 1	藤田 幸
2	人体発生学 2	藤田 幸
3	人体発生学 3	藤田 幸
4	人体発生学 4	藤田 幸
5	人体発生学 5	藤田 幸
6	人体発生学 6	藤田 幸
7	人体発生学 7	藤田 幸
8	神経・感覚器学 1	藤谷 昌司
9	神経・感覚器学 2	藤谷 昌司
10	神経・感覚器学 3	藤谷 昌司
11	神経・感覚器学 4	藤谷 昌司
12	神経・感覚器学 5	藤谷 昌司
13	神経・感覚器学 6	藤谷 昌司
14	神経・感覚器学 7	藤谷 昌司
15	神経・感覚器学 8	藤谷 昌司